

「認知症家族介護者の集い」

を開催

3月15日（木）に耶馬溪公民館にて認知症家族介護者の集いを開催しました。今年度では2回目の開催となります。今回は、公益社団法人認知症の人と家族の会大分県支部の方々と一緒に開催しました。

認知症家族介護者の集いは認知症の方を在宅で介護している方、またこれまで介護してきた経験のある方が参加し、介護における悩みや苦勞、そして工夫していることなどを話す場です。同じ経験をしている仲間と交流し、互いに支え合える関係構築を目指しています。

今回は集いの前に大分県認知症介護指導者として活躍されている特別養護老人ホーム悠久の里の酒井久美子先生による講話を行い、認知症の方を介護する上でのご本人への寄り添い方を学びました。また、介護するうえでのアドバイスもいただきました。

参加者の皆さんからは、「普段、介護をしていて家から出ることができないので、このような機会に参加できて良かった。」「話をすることができて良かった。また参加したい。」などの感想がありました。



↑酒井久美子先生による講話の様子

演題「記憶に残るのは“人の心”

～認知症の人の「困りごと」探しが介護の秘訣～

↓介護者と別れて、別室で職員と交流している様子。

お茶を飲みながら、トランプなどしました。

